

令和7年度 学力向上に係る効果的な取組事例

「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」を 目指した取組事例 について

三郷市教育委員会

指導力の向上・授業改善

～複線型授業の実現・ICTの効果的な活用～

児童生徒の資質・能力の育成に向けて、これまで以上に「個別最適な学び」、「協働的な学び」を一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」を視点に授業改善を行っています。その手段として、ICTを効果的に活用した複線型授業を推進しています。



三郷市優秀教員表彰・受賞者による授業研究会

今年度は、小学校・算数、中学校・国語の授業を公開。個別最適な学び、協働的な学びを通して「主体的・対話的で深い学び」を実現する、優秀教員の優れた指導方法から多くの学びを得ました。

事例1

○教科名：中学校「国語」

○単元名：第2学年「字のない葉書 向田邦子」

○身に付けたい力：

- (1) 抽象的な概念を表す語句の量を増やし、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き、語彙を豊かにできる。 〈知識及び技能〉
- (2) 目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈できる。 〈思考力、判断力、表現力等〉
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。 〈学びに向かう力、人間性等〉



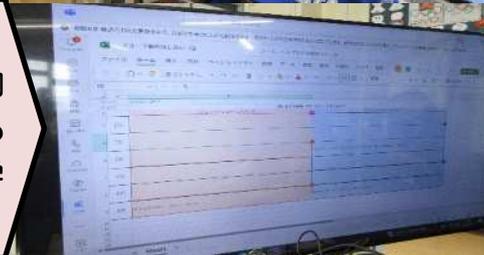
① 協働的な学びの工夫から人物像に迫る

シグソー法的手法を用いて、作品中に登場する人物像に迫った。複数の資料から、生徒自らが選択をして、自身の考えを深めることで、各グループの「教え合い・学び合い」活動を効果的にすることができた。



② ICTの効果的な活用

ICTを用いて生徒へ複数の資料を提示したり、グループ活動において資料の共有をしたりした。ICTを効果的に活用することで、個別最適な学びと協働的な学びを一体としながら、学びを深めることができた。



事例2

○教科名：小学校「算数」
○単元名：第2学年「かけ算（1）」
○身に付けたい力：



- (1) 乗法が用いられる場合や乗法九九について知り、乗法の意味や乗法に関して成り立つ性質(乗数が1ずつ増えるときの積の増え方や交換法則)を理解し、乗法が用いられる場面を絵や図、言葉、式で表したり、乗法九九(5、2、3、4の段)を構成し、確実に唱えたりすることができる。 〈知識及び技能〉
- (2) 数量の関係に着目し、累加の考えや乗数と積の関係などを基に、乗法九九の構成の仕方を考え表現することができる。 〈思考力、判断力、表現力等〉
- (3) 数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理や乗法によさに気づき、今後の生活や学習に活用しようとしている。 〈学びに向かう力、人間性等〉

① 半具体物の活用

課題解決のための自力解決の時間に、児童はおはじきを操作し、ホワイトボードに図を記入することで、考えを深めることができた。



② 学習形態の工夫

自分の考えができた児童はペア、グループで話し合っって考えを交流したり、その後自分一人で考えたりと学習形態の工夫を行い、乗法の意味理解を深めた。



教員研修組織 **GIGA3・プロジェクト「すすめる研究部」**による研究推進

ICT教育推進者が力を合わせて研究を進め、「個別最適な学び」、「協働的な学び」の一体的な充実を図った「複線型授業」の実現を目指しています。

事例3

○教科名：小学校「社会」
○単元名：第6学年「江戸幕府と政治の安定」
○身に付けたい力：(本時)



- ・大名の配置図や武家諸法度、参勤交代を調べ、その意図を考え、話し合う活動を通して、江戸幕府が大名を支配し、権力を安定させたことを理解することができる。 〈知識及び技能〉

○取組の工夫：授業の複線化

「複線型の授業(学び)の実現を目指して」を研究テーマに「すすめる研究部」の先生による授業を実施した。児童に学び方を選択させ、課題解決に向けて調べる活動を進めた。その後、ICTを活用して、全体共有を行いながら、学びを深めることができた。

